

北区新庁舎基本構想について

● 基本構想の概要

新庁舎基本構想は、基本構想検討会議をはじめ、本ワークショップなどで頂いたご意見もふまえながら策定されました。

新庁舎には、ワークショップを通じて提示した交流機能として、交流スペース、子どもふれあい広場などが設置され、併せて公民館機能の複合化も図られます。一方で、郷土博物館機能の複合化は見送られる形となりました。

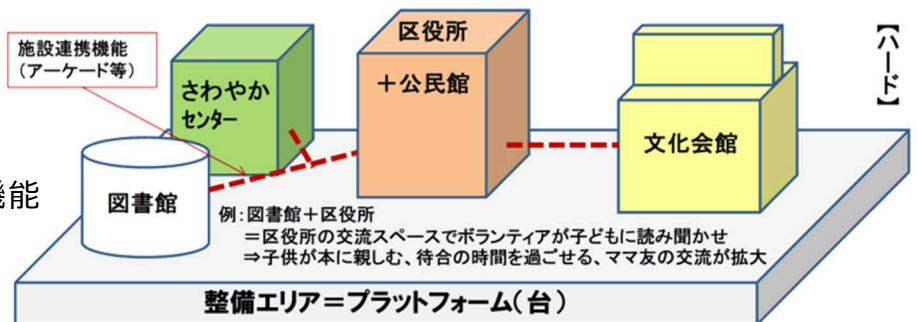
● 新庁舎にもたらされる機能

1 新庁舎の整備方針と機能

(1) プラットフォーム型

サービス提供機能を構築

- ・周辺の各公共施設のサービス機能を連携し相乗効果を生み出す



(2) 地域の一体感の醸成の場の整備

- ・「交流スペース」
地域活動団体の発表など多目的に利用
- ・「子どもふれあい広場」
区役所申請時の待ち時間などでの子どもの居場所
(近接する豊栄児童センターとの役割分担を図る)



新庁舎と複合化する施設・機能	現庁舎新館へ移転する施設・機能
<ul style="list-style-type: none"> ○豊栄地区公民館 <ul style="list-style-type: none"> ・貸館機能の一部 (大講堂と研修室 3 室) ・事務室機能 ○北区社会福祉協議会の事務室機能 (現在、豊栄さわやかセンター内にあり) 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊栄地区公民館 <ul style="list-style-type: none"> ・貸館機能の一部 ○葛塚コミュニティセンター <ul style="list-style-type: none"> ・全機能 <p>施設のコミュニティセンター化を含め一元的な管理運営を検討</p>

○水道局北営業所

北営業所利用者の区役所利用との連携の必要性や費用対効果などから複合化を見送ります。

○北区郷土博物館

展示・収蔵・調査研究の機能が一体となって本来の博物館の役割を果たせることから複合化は行わないこととします。

3 スケジュール

区役所新庁舎の供用開始は、平成 32 年度末を目指します。

(現庁舎新館改修・現庁舎等解体・外構工事の完了は、平成 34 年度までの予定)

